



## 苺藻島運河並埋立工事概要

神戸市技師長  
工學博士 森 垣 龜 一 郎

**運河の位置** 神戸市東高松町、濱添通七丁目、苺藻通七丁目及駒榮町一丁目地先。

**運河開設區域** 苺藻島の東端より同島及東高松町地先水面を西に、現兵庫運河入口及新湊川尻を経て、駒榮町一丁目市電湊川發電所前に至る延長590間及び同地點より南方155間を突出し、尙同地點より東方現苺藻島の民有防波護岸に至る線以内とす。

**埋立區域** (1)陸側埋立地——濱添通七丁目及苺藻通七丁目地先海岸より南方へ約40間を距て兵庫運河西入口より新湊川尻に至る區域にして、此埋立面積8,169.84坪。

(2)島側埋立地——陸側埋立地の前面に幅員35間の運河水路を設け、苺藻島民有境界線より西方延長226間幅員67間の區域内にして、此埋立面積11,576坪28。

(3)湊川發電所前埋立地——駒榮町一丁目市電湊川發電所前海岸より南方へ約37間を距て、東は新湊川尻より起り、西側は假防波堤を境界としたる區域内にして此埋立面積2,240坪。

**埋立地域抱圍護岸** 埋立區域の外廓は混凝土方塊疊積又は鐵矢板混凝土包裝造にて抱圍したるものにして此總延長902間。

		内 譯	
陸 側	{	繫船護岸	110間
		物揚場護岸	190間
島 側	{	防波護岸	216間
		繫船護岸	8間
發電所前	{	物揚場護岸	282間
		繫船護岸	44間
假防波堤	{	物揚場護岸	52間
		繫船護岸	

市電港川發電所前南北境界線上



(1) 荻藻島運河  
並に埋立地全景

に延長 157間の假防波堤一條を設け、運河内風浪の襲來に依る危險及漂砂の流入に依る埋没を防禦す。

**運河水路敷** 本工事区域内に於ける水面積 32,143坪63 (内380坪は船溜) は運河水路敷に屬するを以て之を水深朔望干潮而下12尺に浚渫し、下記船舶の航行を自由ならしめたり。

	幅員	吃水	噸數	
滿潮時	帆船	50呎	15呎	約 { 400噸
	汽船	50呎	15呎	
干潮時	帆船	50呎	15呎	約 { 200噸
	汽船	50呎	10呎	

**陸上設備** (1)物揚場——運河水路に面する部分の埋立地に物揚場斜而張石延長 524間餘、幅員 2間を設け重量貨物の荷役に便ならしむ。

内	譯
陸側物揚場	190間13
島側	

(2)道路及橋梁——埋立地内には東西南北に通ずる幹支線道路數條を設け、尙水路敷に屬する部分に幅員15尺の回轉橋を架設し、兩埋立地を連絡し、人夫の交通に便ならしむ。

**工事施行期間** 昭和三年十月起工同六年三月竣功を告げたり。

**工事費總額** 金1,469,167圓也。

**利用地面積** 埋立地總面積 21,986坪の内道路、物揚場、護岸敷等を控除し、残り 17,808坪は將來工場及倉庫、物揚場敷等に利用せしむ。

内	譯
陸側利用地	6,750坪
島側利用地	9,075坪
發電所前利用地	1,983坪

因に本工事の設計は神戸市港灣部、請負西本組にして 回轉橋は増田淳工務所設計にして三菱神戸造船所に製作せせめたり。(以上)



(2) 荻藻橋全景

(3) 神戸市荻藻島附近略圖。

